

# 令和4年度 県薬病診部会および県病薬事業計画

長野県薬剤師会病院診療所部会  
長野県病院薬剤師会

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症蔓延が続き、社会生活の様式が変容した。会務の遂行、特に会議や研修会の開催様式が大きく変換となる中で、関東ブロック学術大会の開催、運営を担当した。コロナ禍という困難な状況にありながらも、有効で安全な薬物療法の提供並びに新型コロナウイルス治療薬、ワクチンの適正管理・適正使用等に、また、後発医薬品を含めた医薬品の出荷調整、出荷停止等の対応にご尽力を頂いている。

今後、これらの貴重な体験を活かし、新しい様式を取り入れながら延滞なく事業を遂行していく必要がある。医療従事者の働き方改革が言われる中、薬剤師には医薬品に関わる業務効率の向上やタスク・シフト/シェアが求められている。対物中心の薬剤師業務から対人中心の薬剤師業務への転換や電子カルテ・電子処方箋をはじめとするICTの利活用を推進するとともに、施設の地域性・規模機能に関わらず、薬剤師としての使命を果たすため、業務の効率化、病棟薬剤業務のより一層の充実を図り、医薬品の適正使用の推進、積極的な処方提案等様々な業務を進めるなど、今後さらに、入院から外来、外来から入院へと切れ目のない安心安全で適切な薬物療法の提供に取り組んで行くことが求められている。施設間の横のつながり、薬剤師・薬局をはじめとした地域との連携、また、資質向上のための研修会の開催等を推進し、新しい世代の薬剤師への業務継続をしていかなければならない。しかしながら、深刻化する薬剤師の偏在問題は、恒常的に人材の確保が困難な状況にあるが、行政等との連携を推進し、機会のあるごとに訴えていくことが必要と考える。

社会の変化に対応し、国民の健康、公衆衛生の向上及び増進に寄与するため、長野県薬剤師会病院診療所部会及び長野県病院薬剤師会は、以下に掲げる事項について取り組むこととする。

## 【学術部：学術委員会】

### I. 通常総会 講演会

担当：六波羅 三浦

日時：令和4年9月（予定）

共催：沢井製薬

詳細については、決まり次第案内を配布予定。

### II. 学術大会 講演会

日時：令和5年1月21日（土）

場所：松本市（予定）

学術大会は、集合もしくはハイブリッド形式で計画中。

詳細については、決まり次第案内を配布予定。

### III. 長野県病院薬剤師会薬剤師専門講座（案）

<目的>

薬学における専門分野を系統的に学び、学んだことを自施設で実践することにより、長野県病院薬剤師会会員のレベルアップを目的とする。  
現時点では具体的な開催案なし。

#### 【業務部：業務委員会】

##### 活動目標

病院等の利用者様に、安全で質の高い薬物治療を提供するため薬剤師業務の質向上、業務の効率化・ICT化を推進して、新たな業務の展開を提案・検討する。

##### 活動計画

1. 病院間および病院一開局間の業務に関する連携強化と薬剤師のさらなる職能発揮
  - 1) 「病院薬剤師の集い」メーリングリストの利活用の推進
  - 2) 第12回業務別「情報交換会」の開催
  - 3) 地域フォーミュラリーの構築に向けた取り組みを検討
  - 4) タスク・シフティングに関連する取り組みを検討
  - 5) 病院薬剤師の新たな業務について情報共有を図り、業務のレベルアップ・活性化に繋げる  
「ながのけん病薬誌」「県病薬ホームページ」にて、情報発信・共有を図る
2. 県病薬・県薬病診部会学術大会 への協力  
シンポジウムの企画・開催
3. 研修会開催  
テーマ : 「フォーミュラリー (仮) 」  
日程 : 令和5年2月頃  
開催形式 : WEB研修 または 集合研修  
同時開催 : 会員施設から先進的な業務に関する情報提供

#### 【業務部：医療安全対策委員会】

- 1) 県内の医療関係者との仲間づくりと医療安全のスキル向上
- 2) 医療安全週間活動 (川柳。標語の公募)
- 3) 講演会 (リスクマネジメント研修会) の開催
  - 第1回リスクマネジメント研修会
    1. 日時 : 7月9日 (土) 10:00-16:00
    2. 場所 : 長野県看護協会会館
    3. 講演 : 「ヒヤリハット報告のヒアリングの仕方」
    4. 講師 : 札幌市立看護師長 佐藤 亜紀
  - 第2回リスクマネジメント研修会
    1. 日時 : 10月22日 (土) 10:00-16:00
    2. 場所 : 長野県看護協会会館
    3. 講演 : 「モニターアラームコントロールチーム (MACT) の活動とアラーム対応」

#### 4. 講師：日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 関 正宏

##### 【業務部：中小病院委員会】

###### # 活動目標

施設の内外に対して「顔の見える中小病院薬剤師」を目指し、気軽に情報交換できる横の連携体系を拡大する。

###### # 活動計画

1. 長野県内中小病院薬剤師のための情報交換の場「中小 web 談話室」の運用（毎月 1 回）
2. 長野県内中小病院薬剤師のためのメーリングリスト「長野県中小病薬友の会 ML」の運用
3. 人員確保に向けた取り組み
4. 情報交換会の web 開催
5. 中小病院に関する研修会（講演会）の web 開催

##### 【教育部：新人教育委員会】

###### 1. 新人研修会の概要と目的

集合研修型の新人教育研修会を事業の大きな柱とする。新人薬剤師に病院間・世代間での人的交流を深めてもらうために開催する。

研修会の参加資格は原則的に新卒の薬剤師とするが、中途採用や過去の研修会に参加できなかった場合も、事前の参加希望があれば受け入れる。

なお、状況に応じて WEB での開催を検討する

###### 2. 新人研修会の内容

開催形式として、新人教育委員によるプレゼンテーションと、新人参加型のディスカッション形式を組み合わせで行う。必要に応じて、県内外で先進的・独創的な業務展開を進めている病院薬剤師や大学教員、医療従事者を特別講演の講師として招聘する。

参加型研修については、新人薬剤師が主体となり、テーマに沿って新人同士の活発なディスカッションが促されるよう委員が進行をサポートする。

研修会に参加した新人薬剤師に修了証を研修会終了後に授与する。

###### 3. 日病薬病院薬学認定薬剤師制度との連携

日病薬病院薬学認定薬剤師制度との連携体制については、教育部全体の事業として協力し推進してゆく。また、新人研修会が日病薬病院薬学認定薬剤師制度の認定講習会としての条件を満たすならば、積極的に申請を行う。

##### 【教育部：薬学生教育委員会】

###### 1. 実務実習に関する対応・情報発信

①長野県薬剤師会薬局実務実習推進委員会と連携して、実習に関する対応や情報発信を行う。

②関東地区調整機構および薬学教育協議会からの情報があれば県病薬の HP やメーリングに配信する。

2. 認定実務実習指導薬剤師養成のためのWSやアドバンスWSへの関わり
  - ①開催案内・参加希望集計および定員を超えた場合の調整
  - ②タスクフォースとしての参加や派遣調整
  - ③タスクフォースを輩出する体制の整備・強化
3. 長野県内における認定実務実習指導薬剤師の把握（所属・人数など）と連絡体制の構築・整備  
備有資格者の移動・退職等により把握しきれていない部分がある。委員会として永続的に有資格者を把握し、実習関連の案内・周知などを迅速・簡便・安価にできるような連絡体制を構築・整備する。
4. 長野県薬剤師会薬局実務実習推進委員会との合同会議

#### 【教育部：生涯研修委員会】

##### #活動目標

薬剤師の資質向上の取り組みとして、薬物療法での薬剤師の独自の視点・責任をもって行動し貢献するため、研修及び専門薬剤師・認定薬剤師養成に積極的に取り組む。

##### #活動計画

1. 日病薬病院薬学認定薬剤師制度の長野県における運用と実施体制の強化に取り組む。
2. 研修会への参加（集合研修、web研修、ハイブリッド型研修）、e-ラーニングシステムを活用した生涯学習を推進する。
3. 各種研修会・セミナー等の情報共有するための体制を構築する。
4. 日病薬病院薬学認定薬剤師認定試験における情報提供、環境づくりに取り組む。
5. 学術大会、新人研修会、ホームページ等での情報提供

#### 【総務部：総務委員会】

- ① 通常総会・臨時総会・学術大会を関係委員会と協力して企画および実施
- ② 病院・診療所薬剤師の未加入者へ対する入会の促進
- ③ 賛助会員制度について検討と賛助会員の募集の継続
- ④ 県病薬誌の広告収入の獲得（3万円/P×4P/回×4回/年＝48万円）
- ⑤ 会員名簿の作成
- ⑥ 事務局体制の強化（一般社団法人化を含め）について会費問題も含め検討
- ⑦ 日本病院薬剤師会の事業計画を考慮した長野県病院薬剤師会の方向性を検討
- ⑧ 日本病院薬剤師会 病院薬剤部門の現状調査への協力と、調査結果より課題の検討
- ⑨ 長野県病院薬剤師会会則の改定の検討

#### 【総務部：広報委員会】

1. 県病薬誌の発行（4回）
2. 広告獲得
3. 編集会議（広報委員会）の開催（4回）
4. 他の都道府県病薬誌の閲覧
5. 県病薬アピールのための方策検討

## 6. ホームページ維持管理への協力

### 【総務部：ホームページ委員会】

昨年度リプレース致しました、新ホームページの更なる充実を図っていきます。また、新ホームページの情報更新・配信、新たなコンテンツ作成を中心に会員に向けて、迅速な情報公開に努めていきます。

#### 1) ホームページの機能

- (1) 掲載されているコンテンツの充実
- (2) 新しいコンテンツの作成（研修会等の動画配信）
- (3) 学術大会及び総会等のリアルタイム配信の検討
- (4) 必要な情報の迅速な配信、管理（薬剤師専門講座等、各種勉強会）
- (5) メーリングリストの管理
- (6) ホームページを構成している既存 OS（PHPver7.0）の小規模バージョンアップ  
(PHPver8.0)

#### 2) 各委員会との連携による情報配信

- (1) 広報委員会（病薬誌のバックナンバー掲載）
- (2) 学術委員会（薬剤師専門講座等の活動報告掲載文依頼）
- (3) その他委員会からの必要な情報の迅速な配信

### 【会計部門】

運営費、会費の適切な運営管理の推進